

2018-12-26

隔離ほ場栽培試験中の遺伝子組換え青紫色ファレノプシスの様子

2019 年春に生育調査および花の形態調査等を予定している組換えファレノプシスのほ場ビニールハウスでの栽培を開始しました。また、2018 年 12 月 10 日から幼苗の低温耐性試験および成苗の越冬性試験を開始しました。また、7 月末から 9 月にかけて実施していた生育初期の高温耐性試験及び越夏性試験は問題なく終了しました。

1. 形態および生育特性に関する調査

目的：組換えファレノプシスと非組換えファレノプシスの花の形態、花色等に関する調査および植物体の形態や生育特性に関して比較調査する。（調査は 2019 年春の花の開花時期に行う）

材料：2018 年 11 月 29 日および 30 日、石原産業株式会社（滋賀県）より、植物が漏出しない容器に入れ陸路で運搬し、直接隔離ほ場のビニールハウス内へ搬入

植物体（成体）・・・組換えファレノプシスおよび非組換えファレノプシスの鉢植え各 25 個体

栽培管理：温風器で加温しつつ、10 日～2 週間に一度灌水（写真左）

2. 生育初期の低温耐性および越冬性に関する調査

目的：生育初期の低温耐性および成苗の越冬性を評価する

材料：2018 年 11 月 29 日および 30 日、石原産業株式会社（滋賀県）より、植物が漏出しない容器に入れ陸路で運搬し、直接隔離ほ場へ搬入。約 1 週間、ビニールハウス内で栽培後、12 月 10 日に屋外へ移動し試験開始

幼苗・・・組換えファレノプシスおよび非組換えファレノプシスの鉢植え各 5 個体

植物体（成体）・・・組換えファレノプシスおよび非組換えファレノプシスの鉢植え各 5 個体

栽培管理：生育初期の低温耐性試験用の幼苗および越冬性試験のための植物体は、隔離ほ場内に設置した架台の下に置き、防鳥網をかけて栽培（写真右）。ただし、台風などの強風・大雨の恐れがある場合には、一時的に隔離ほ場内のビニールハウス内に移動。10 日～2 週間に一度灌水。

